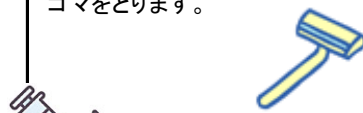


腹腔鏡補助下結腸切除術を受ける方へ
 <入院治療マップ>

月 日 経 過		様		主治医:		担当看護師:		
外来		入院当日 ～ 手術前々日		手術前日	手術日	手術翌日 ～ 手術後4日目	手術後5日目～	手術後7日目～退院
目標	・手術に必要な検査を受け,手術に臨む準備を整えましょう。 ・禁煙に努めましょう。	・手術の流れについて理解し、必要な処置を受けて手術に臨みましょう。				・手術前の動きに戻れるように体を動かしていきましょう。 ・食事の食べ方に注意しましょう。	・退院後の生活における注意点を理解し、退院の準備を整えましょう。	
検査 処置	・手術に必要な検査をします。 (採血・心電図・呼吸機能・レントゲン撮影) ・病状把握に必要な検査をします。 (胃カメラなど) ・一部の検査は入院してからすることがあります。 	・本人確認のためリストバンドをつけます。 ・呼吸訓練を1日4～5回おこないます。 ・適宜、採血や検査をします。 ・手術2日前に大腸カメラ、CT検査、手術前日に大腸バリウムの検査があります。	・消毒薬が皮膚に合うかどうかを確認します。 ・点滴用の管を右首周辺または右鎖骨の下にいれます。 その後、レントゲン撮影で管の位置を確認します。 ・お腹や背中 of 毛をそり、おへそのゴマをとります。 	＜術前＞ ・手術着に着替えます。 ・鼻から胃まで管を入れます。 ＜術中＞ ・背中に痛み止めの管を入れます。 ・お腹に管が1～2本入ります。 ＜術後＞ ・心電図、血圧などをみるモニター、足をマッサージする機械をつけます。 ・酸素を吸入します。 	・毎日、傷の観察をします。 ・術翌日に、状態を見ながら酸素、モニター、足をマッサージする機械を外し、鼻の管を抜きます。 ・適宜、採血やレントゲン撮影をします。	・毎日、傷の観察をします。 ・5～7日目にお腹の管を抜きます。 ・5日前後で背中 of 痛み止めの管を抜きます。 ・状態をみながら、7日目以降に抜糸します。 ・適宜、採血やレントゲン撮影をします。 		
投薬 (内服)	・日頃飲んでいる薬の確認をします。 ・血をサラサラにする薬は医師の指示により数日前から中止します。 ・検査により下剤の内服が必要ことがあります。	・内服薬の確認をします。 入院時に持参してください。 ・手術2日前に下剤内服があります。		＜術前＞ ・医師の指示で薬を飲むことがあります。 少量の水で飲んでください。		・食事開始に合わせて、術前からの内服薬を適宜再開します。 ・下痢・便秘があるときは、薬がありますのでお知らせください。	・必要時、退院処方があります。 	
投薬 (注射)		・食事が十分に摂取できない時には点滴を行います。 ・手術2日前から食止めになるため、点滴を行います。 		・手術室への入室に合わせて右首周辺または右鎖骨の下から点滴を開始します。 ・腕からも点滴を開始します。	・痛みがあるときは、痛み止めの注射を行います。	・十分な食量となった頃に点滴を終了します。 		
安静		・手術3日前は原則として外出・外泊はできません。		＜術後＞ベッド上安静です。看護師が適宜、体の向きを変えます。	・安静の必要はありません。 徐々に歩けるようにお手伝いします。			
食事	・検査により食事制限が必要なことがあります。	・検査により食事制限や検査食になることがあります。 ・手術2日前から食止めになります。飲水は可能です。		・飲食できません。 	・絶食水です。 ・手術翌日から飲水開始予定です。	・手術後3日目から食事開始です。 ゆっくり食べてください。		
清潔		・入浴できます。	・除毛のあとに入浴してください。		・温かいタオルで体を拭きます。	・抜糸後シャワー・入浴ができます。		
排泄		・検査のためにコップに尿をとったり、袋にためていただくことがあります。		・手術室に入る前に排尿をすませてください。 ・手術中に尿道に管を入れます。	・尿道に入っている管を抜きます。 その後、尿を確認します。 ・おならや便を確認します。	・十分に食べられるようになれば、尿を蓄める必要はありません。	・便秘に注意してください。 ・肛門に近い場所を手術された方は排便習慣が変わることがあります。	
説明 指導	・手術の4～7日前に入院し、術後2週間程度で退院になる予定です。 ・入院治療マップをお渡しし、入院時に必要な物品の説明をします。 ・禁煙の説明を行います。 ・緊急連絡先を確認します。 ・薬や食事でアレルギーがある方はお知らせください。	・保険外負担の同意書、各検査同意書問診表を提出してください。 ・入院診療計画書をお渡しします。 ・入院生活について説明します。 ・必要物品の説明をします。 ・呼吸訓練、機能訓練の説明をします。 ・薬剤師が、服薬指導をします。 ・栄養士が、術前の栄養指導をします。 ・IDカードをお預かりします。	・麻酔科医師の診察があります。 ・全ての検査終了後、担当医師より病状や手術について説明があります。 ・手術に必要な物品を確認します。	・ご家族の控え室・術後説明室のご案内、説明をします。 ・ご家族の代表の方にPHSをお渡しします。 適宜、連絡が入ります。 かけることはできません。 ・ご家族は控え室でお待ちください。 ・13時30分よりICU・HCUの案内があります。 代表の方が必ず説明を聞いてください。 ・手術後担当医師がご家族に手術の経過を説明します。 ・PHSは、面会終了後に術後病棟 of 看護師にお渡しください。	・状態に応じて一般病棟に移ります。 ・尿の管が抜けたあと、尿のため方について説明します。 ・手術翌日よりリハビリ訓練を再開します。 ・飲水、食事開始時は食べ方について説明します。	・病理診断の結果は10日～14日程度かかります。結果が届き次第、担当医師から説明があります。 ・栄養士が術後の栄養指導をします。 ＜退院時＞ ・退院の説明をおこないます。 ・次回受診日をお知らせします。 ・他医療機関への診療情報提供書が必要な方は事前にお申し出ください。 ・IDカード・借用フィルムをお返しします。		